

茨城県議会「地域医療」報告



茨城県議会議員（水戸市・城里町選挙区）

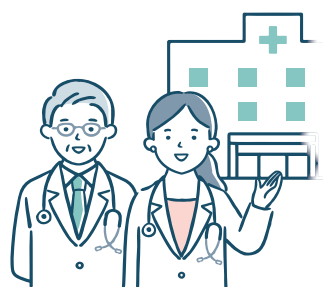
たま つくり じゅん いち

玉造 順一



発行元：茨城県議会 茨城無所属・政策の会
〒310-8555
茨城県水戸市笠原町978-6茨城県議会控室

【玉造順一プロフィール】1971年11月 水戸市本町生まれ（54歳）。浜田小、水戸二中、緑岡高、茨大人文学部卒。同大学院人文科学研究科修士課程修了。労働金庫勤務を経て、水戸市議（3期）。現在、茨城県議会議員（2期）。土木企業立地推進委員会、県民の命を守る医療に関する調査特別委員会に所属。立憲民主党と無所属の議員4人で会派「茨城無所属・政策の会」を構成。

県立中央病院と
県立こども病院を統合2034年度までに
水戸市三湯町周辺へ
移転新築

昨年2月、県は、水戸保健医療圏の6病院を2つの拠点病院を中心とした病院群に再編し、将来にわたって県央・県北を担う医療提供体制を構築するという方針を発表しました。

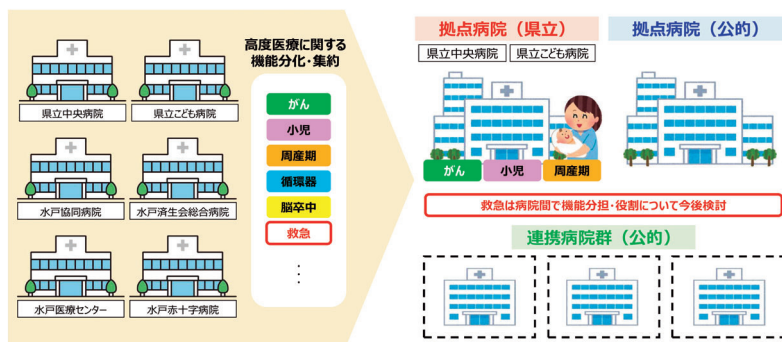
その第一歩として、県立中央病院（笠間市）と県立こども病院（水戸市）を統合し、がん・小児・周産期医療を柱とした県立拠点病院を、笠間市小原地区、水戸市三湯町地区周辺に整備するという基本構想（素案）を公表しました。

一方、県議会では、昨年度は「未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会」が、今年度は「県民の命を守る医療に関する調査特別委員会」が設置され、会派からは玉造順一議員がいずれも委員として、地域医療を充実させる立場で積極的な政策提言を行ってきました。

今回は、その質疑についてお知らせいたします。県民の皆さまからのご意見、ご要望をお寄せください。

水戸保健医療圏6病院の再編イメージ

拠点病院（県立）については、来年度から基本構想の策定等を進めていく
拠点病院（公的）・連携病院群（公的）については、引き続き設置主体や機能分担等について協議を加速させる



2025
6/13

未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会

【玉造順一委員】

水戸地区の病院再編について、どのような議論の方向性が必要か？



【平松祐司・筑波大学附属病院長】

ある程度思い切った機能分化が必要。例えば、新しい県立病院はがんセンター的な機能を、もう一方の中核病院には脳卒中や循環器病センター的な機能を持たせることで県民や県内で従事する医療者のプライドも高まる。「あそこへ行けば、全国トップレベルの医療研修、研さんができる」ということになれば、研修医だけでなく全国から中堅クラスの医師が集まってくるような構想を目指すべきだと思う。

2026
5/15

県民の命を守る医療に関する調査特別委員会

【玉造順一委員】

本県の在宅医療は、人口10万人当たりだと利用率が大変低いが、県の推計では今後の60%を超える増加が見込まれる。県として、この問題をどのように分析しているのか？



【医療政策課長】

在宅医療利用は全国39位ということだけを見ると低いが、年々改善してきている。在宅医療需要については、医療機関数といった提供体制の要因はもとより、患者本人の意向もあり、なかなか評価をするのは困難と認識している。

2026
7/9

県民の命を守る医療に関する調査特別委員会

【玉造順一委員】

例えば骨肉腫など、県内で治療ができないがん治療などもある。現在、県外の医療機関に通院、入院されている患者数はどのぐらいいらっしゃるのか？



【健康推進課がん・循環器病対策推進室長】

県内の医療機関からの情報しか入手することができず、他県の情報が分からないという状況である。

【玉造順一委員】

県内には約2万2,000人のがん患者数がいて、そのうちのどの位の方が県外の医療機関で治療されているのかを聞きたかった。県内のがん診療連携拠点病院などの機能を強化することも大きな課題だと思うが、具体的な課題は？

【保健医療部長】

将来的には人口減少していく、がんの患者は減っていくという中で、一方でがん診療は高度化してきているので、どういった集約化をすべきか、均てん化をすべきかというものを考えなければいけないというフェーズに入っていると認識している。

【玉造順一委員】

体調が悪いのに県外に通院しなければならないという方が、住んだ地域で治療を受けられる体制を、ぜひ茨城県として確保していただきたい。

2026
8/20

県民の命を守る医療に関する調査特別委員会

【玉造順一委員】

県立中央病院の総合周産期母子医療センターは2.5次医療相当としてきたが、こども病院の小児医療は3次医療であることを考えると、新県立病院の整備では総合周産期医療を含め、3次医療として救命救急センター設置を進めるべきと考えるが、県の考え方は。



【病院長経営管理課企画室長】

総合周産期母子医療センター見直しの具体については、3次相当の機能強化を図る必要があると考えている。

県立の拠点病院 建設候補地



整備スケジュール

2025年度	2026年度	2027年度以降	2034年度まで
基本構想・基本計画	基本設計・実施設計	移転	開院
	測量・用地取得等	造成工事・建築工事	

茨城県病院局ホームページより転載